

報恩講

真宗興正派 本山興正寺



令和4年11月21日 - 28日

午前7時 晨朝法要 午前10時 日中法要

午後2時 速夜法要 午後4時 初夜法要

※ 21日の日中法要、28日の速夜法要はありません

報恩講とは？



親鸞聖人の御命日である11月28日をご縁に、90年にわたる聖人のご苦勞をお偲びし、そのご恩に感謝する法要が「報恩講」です。聖人のご恩に感謝する中で、聖人があきらかにされた真実の「み教え」をたずね聞かせていただき、共に念仏をよろこぶことこそが報恩講の大切な意義です。

真宗門徒にとって、報恩講は最も大切な法要であります。

親鸞聖人ってどんな人？



親鸞聖人は、平安末期から鎌倉初期という激動の時代を生き、真実の浄土の教えをあきらかにしてくださった、浄土真宗の御開山（開祖）です。

聖人は9歳の時に「真実の救いの道」を求めて出家し、20年にわたって比叡山で厳しい修行を積まれますが、真実の道を得ることは出来ませんでした。しかし、聖徳太子の導きによって法然上人と出遇い、「ただ念仏して弥陀にたすけられよ」という浄土真実の大道に入られたのです。それ以来、90年の御生涯を閉じるまで、専らに念仏の「み教え」を説き示し、お伝えくださいました。

令和4年本山興正寺報恩講 布教使



香川県
慈照寺
秋山 和信

11月25～26日



福井県
浄信寺
北岑 大至

11月21～24, 27日



香川県
妙楽寺
川田 慈恵

11月28日

報恩講に寄せて

真宗興正派宗務総長 秦 直樹



本山報恩講へようこそお参りくださいました。

度重なる自然災害によって破損した御影堂の復旧は、四年の歳月を経てようやく完了することができました。これもひとえに全国の派内寺院の皆さまをはじめ、ご門徒の皆さま、有縁の皆さまのご支援とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

立派に復旧工事を終えた御影堂は、新しい暈の匂いに包まれ、芳しいお香が立ち込めています。深く息を吸い込むとその香りが身体の中に染み渡り、何かピンと背筋が伸びるような身の引き締まる思い

が致します。また美しい彩色が施された金色に輝く内陣は、まるで浄土の世界のようです。

堂内から聞こえてくる読経の声は、「宮商和して自然なり清浄勲を礼すべし」（浄土和讃）とあるように、私の耳を通して心に染み入ります。自然と手が合わさり、頭が下がってまいります。

私たちは、忙しい毎日の中であくせくと生活しています。同じ音を聞き、同じ匂いを嗅ぎ、同じ風景を眺める中で、立ち止まって自分自身の声に耳を傾けることもなくなり、いつしか心の動かされる場面も少なくなってしまうように感じます。

五年ぶりに御影堂で厳修される宗祖親鸞聖人の報恩講にあたり、美しく荘厳されたお堂でお念仏を申させていただき、日常生活でついつい気づかぬまま過ぎてしまっている私自身のあり様を、もう一度見つめ直す機縁にさせていただければと思います。

お念仏に支えられてあった感動を皆さまと一緒に分かち合えることを楽しみにしております。



真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075 FAX 075-371-8509

